



2026年頭のご挨拶



謹んで
初春の
お慶び
申し上げます



輝かしい新年の幕開けにあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中も弊社に格別のお引き立てを賜り、心より厚く御礼申し上げます。
 昨年令和七年(二〇二五年)を振り返ると、一番の話題は何と言っても、大阪の人工島・夢洲で、日本を含む二五八もの国・地域が参加し、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、春四月～十月迄の一八四日間開催され、二五五七万人もの来場者で賑わった、大阪・関西万博の大成功に象徴されると思います。その他には、街にクマ被害が相次ぎ、パンダ(熊猫)が中国に返還された事も手伝つてか、毎年恒例の京都・清水寺での今年の漢字一文字に「熊」が選ばれたり。日本史上初の女性首相誕生により、流行語大賞に高市首相が放った「働いて働いて働いて働いて・・・」が選ばれたり。天候不順等による米価高騰での備蓄米放出や、大谷・山本・佐々木という日本人三羽鳥の大活躍によりドジャースがMLBワールドシリーズ連覇。更にノーベル生理学・医学賞に坂口志文・大阪大特任教授、また同化学賞を北川進・京都大特別教授が受賞、等々。昨年も、何かとニュースに事欠かない一年だった様に思います。

この様な中で弊社は、例年通り終始一貫、決して奇をてらうことなく、『緑』を造り、育てることを通じて、豊かな景観・環境を創り守ることを社会的使命とし、本来の緑地管理業務、並びに造園工事業務を通して、皆様の暮らしに心地良い潤いを提供できる様、粛々と活動して参りましたが、未来への環境保護・維持に繋がる新しい試み⇨静岡市と静岡市造園緑化協会が令和五年に締結した「空家等対策に関する協定書」に基づいた、空き家状態になっているお宅の庭の手入れのお手伝い等の、未来形成に繋がる環境整備活動には、昨年も積極的に取り組んで参りました。本年もこの種の活動には、馬車馬の如くより一層積極的に携わって参る所存ですので、皆様本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



令和八年 元旦

株式会社ひかり造園

代表取締役社長 櫻井 孝夫

